

# 協働の森パートナーズ協定

## 交流活動イベントのレポート

人が森を助ける。  
森が人を助ける。



Collaborative Forest Restoration with  
Environmental Progressive Companies.

「環境先進企業との協働の森パートナーズ協定」については、  
高知県林業振興・環境部林業環境政策課のHPをご覧ください  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kyoudounomori.html>

協定企業：三愛オブリ株式会社様  
開催場所：「三愛オブリの森」  
開催日：令和5年10月15日（日）  
参加者数：93名（三愛オブリグループ様、  
本山町、本山町森林組合、  
高知県）



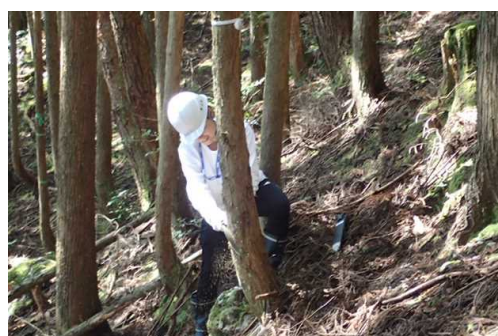
昨年は3年ぶりに交流活動が再開され、今年度（令和5年10月14日－15日）も引き続き『「三愛オブリの森」体験型環境研修』が行われることとなりました。

1日目は高知市内観光。NHK連続テレビ小説「らんまん」が終了した直後に、ドラマのモデルとなった牧野富太郎博士ゆかりの牧野植物園を散策されており、興味深い体験になったことと思われます。

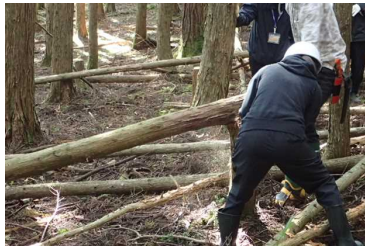
### <間伐体験の様子>



2日目の開会式では、澤田本山町長、三愛オブリ株式会社 隼田社長からご挨拶いただきました。嶺北林業振興事務所の職員から作業説明を受け、準備運動をした後は、班ごとに車に乗り込み間伐地へ移動です。それぞれの作業箇所に着後、本山町森林組合職員や高知県職員の指導のもと、いよいよ間伐の開始です。



自分で伐った木の小片は、  
なぜだか愛着が湧きます。



斜面での作業は足場の確保が難しく、しかしみなさん、懸命にノコギリを挽きます。細く見える木も、伐り倒すとかなりの労力が必要なることを実感されたのではないのでしょうか。間伐後は、大勢でわいわいと昼食を楽しむ様子が見られました。



昼食を堪能し、午後は稲刈り体験場所へ移動しました。爽やかな秋晴れの中、指導を受けながら協力して次々に稲を刈っていきます。



社員の方々は稲刈り終了後、東京へ帰る前に、「四国の水がめ」早明浦ダムを見学されました。今回の交流活動は天候にも恵まれ、大勢で食事を楽しむこともできました。来年もこのような気持ちの良い活動ができますように！

